

(2) 配水池の能力

上水道事業における配水池の整備状況を見ると、令和5年度末は総数807池、総有効容量2,272千 m^3 である(表-6)。

配水池貯留能力は、給水に対する安定性を示す指標の一つであり、令和5年度末は、0.79日である。

表-6 配水池容量(上水道)

区 分	池 数 (池)	有 効 容 量 (千 m^3)	配水池貯留能力(日)※
大 阪 市	49	604	0.56
大阪市を除く市町村	758	1,669	0.93
府 計	807	2,272	0.79

※ 配水池貯留能力(日) = 有効容量(m^3) / 一日平均配水量(m^3 /日)

(3) 配水管

令和5年度末における上水道事業の配水管総延長は23,521.7kmであり、配水管容量は約937千 m^3 で、令和4年度末に比べ配水管延長は0.12%増加し、配水管容量は0.05%の減少となっている(表-7)。

表-7 配水管延長と容量(上水道)

区 分	配水管延長 (m)	配水管容量 (m^3)	現在給水人口 1人当り容量 (L)	給水可能面積 1ha当り容量 (L)
大 阪 市	5,127,560	467,771	168	20,758
大阪市を除く市町村	18,394,170	469,351	79	4,264
府 計	23,521,730	937,122	107	7,066